

奥様のかゆ〜いところに手が届く まごの手新聞「無料」



「万歳三唱の日」

2月11日は「万歳三唱の日」です。明治22年（1889年）のこの日、大日本帝国憲法発布式で初めて万歳三唱が行われたのを記念して定められました。「万歳」とは「万年」「長寿」を意味する漢語です。明治政府は富国強兵のために西洋化を推し進めていました。そこで、平民が君主を迎える際に言葉や歌でその威光を讃えるという、西欧の習慣にならって考案したのが、万歳三唱だといえます。

まごの手歳時記

祝意を表す言葉は万歳の他にも候補が色々ありました。「奉賀（ほうが）」「三喝（さんかく）」という案もあったんですよ。

趣味を始めよう!

頭の体操「クロスワード・パズル」

最近では問題を解くだけでなく、作ることも興味を持つ人が増えているようです。「パズル作家養成講座」があるそうです。そんな中、クロスワードパズルの制作

を副業にと考える人もあり、ネットなどで時々募集もされています。しかし、作業労力に見合うほどの収入と見えるかは疑問ですし、報酬を支払わない悪徳な業者もあるようです。

まずは楽しんでカギを解き明かしたり、パズルを作ったりして、大いに頭の体操をしたいものです。



「カギ」と呼ばれる問題を解き、その答えでマス目の空欄を埋める「クロスワードパズル」。問題には色々な分野の豆知識や、タイムリーな話題が取り入れられていて、解答することで面白い知識を知れることもできます。ちょっとした合間に解けるので良い気分転換になりますね。

1913年に、アメリカ「ニューヨークワールド」紙に初めて掲載され人気が出て、世界中に広がりました。日本ではたいていの場合、答えはカタカナで書きこむ、チャ・チュ・チョはチャ・チュ・チョと書くなど、いくつかのルールがあります。

がんばれ! 子育てファイル

家庭で養う「考える力」

ような質問が少なくありません。忙しいからイヤイヤして、「どうやらサッサとこなさい!」と言いたくなる時もありますね。それも仕方ないでしょう。

ただ、子どもは「不思議だなあ」と思っているだけで考える力が身に付きます。「〇が丸い理由」などという難しい質問にも、「お母さんもお母さんからないなあ。あなたがいっぱい勉強して、分かるようになったら教えてね」など、できるだけ相手をしてみたいものです。

また、子どもがおもちゃで無心に遊んでいる時や、好きなことに没頭している時は、大人は手や口を出さずにそっと見守りましょう。子どもは想像力を働かせて、次から次へと遊びを発展させていきます。その中で楽しみながら頭を使い、集中力を養います。大切なのは、子どもが



「なえ、〇は丸いって丸いって」と聞かれたら、あなたはどう答えますか。子どもは、朝から晩まで「なえなえなえなえ」と質問を繰り返す時期があります。おまけに、頭の丸い顔の面影が



自発的に考えたり想像したりするのです。途中で「ううたの方がいいわね」などと指図しないように注意してください。

あまり積極的に動かないおとなしい子の場合は、逆に「なせだろね」「不思議だね」と、声をかけてあげるとも大事です。考える力は、放っておいても育ちません。特に今は情報があふれていて、何事も受け身になりがちです。「家庭での会話を通して、子どもの「不思議の種」を育ててあげてくださいね。

あなたらしく生きる100通りの方法

「無理」の枠を外してみましょう

1年前とは

自分も周りも違ってきます
去年はできなかったことも
今ならできるかもしれません

